

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	子ども夢パーク	評価対象年度	平成20年度
事業者名	・事業者名 川崎市子ども夢パーク共同運営事業体 ・代表者名 財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 小宮山健治 川崎市中原区今井南町514-1 ・構成員名 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば 理事長 西野 博之 川崎市高津区下作延1938	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部こども青少年部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 65,775 人 ②年間延べ利用団体数 704団体
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 62,402,000 - その他(戻入金) - 24,550 合計 62,426,550 2 支出 人件費・賃金 39,063,389 光熱水費 4,544,789 委託費 8,938,801 消耗品費 1,478,258 - その他経費 - 8,091,189 合計 62,116,426 3 差引 310,124
サービス向上の取組	指定管理以前からの運営ノウハウを生かし、川崎市子どもの権利に関する条例の理念に沿った事業展開を実施している。また、利用者との意見交換を定期的に行い、サービス向上に取り組んでいる。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	自主事業計画	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
	事業成果	予定していた事業が実施されているか	5	3	3
		計画的に行事等が実施されているか			
(評価の理由)					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	5	3	3
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか	5	3	3
効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか					
(評価の理由)					
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 定期広報紙のほか、ケーブルテレビの活用や記者クラブへの記事掲載依頼など、各種広報媒体を活用した広報に努めている。また、主な利用者である子ども中心とした委員会を設け、ニーズの把握に努めているとともに、それらを反映させた事業運営を行っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由)					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3
	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか				
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害時の対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由)					

4. 総合評価

評価点合計	63	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点: 100点満点。評価ランク: 5段階評価

A: 90点以上 B: 80点以上90点未満 C: 60点以上80点未満 D: 40点以上60点未満 E: 40点未満

A: 特に優れている B: 優れている C: 適正である D: 改善が必要である E: 問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

川崎市子どもの権利に関する条例の理念が生かされる象徴的な施設として、子ども及び利用者の意見を十分に聞き、施設の管理運営がなされている。
各種広報媒体の活用をはじめ、他都市からの多数の視察の受入など、施設の周知に努めている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

仕様書で示した事業は実施されているが、年度事業計画書に記載した事業について、一部未実施となった事業があったことから、特別な事由がない限り、その実施に努めること。また、引き続き、利用者が安全に利用できる環境づくりを行うこと。